

健やかな成長を祈る 「ひな祭り」

3月3日(金)、浪江にじろこども園において桃の節句にあわせて「ひな祭り」が開催されました。2歳児から年長さんまでの39人が参加し、ひな祭りを楽しみました。

園児たちは先生から行事の由来や、クイズを通して人形を飾る意味を教わりました。一人ひとりが一生懸命作成した「お内裏様」と「お雛様」を披露し、最後には、みんなで「うれしいひなまつり」を歌いました。



一生懸命作成した「自分たちだけのひな人形」をお披露目

買って！食べて！遊んで！走る！



大人限定「利き酒DASH」

3月12日(日)、新町通り周辺において「新町にぎわいマーケット」と「SHIN-MACHI DASH」が開催されました。「新町にぎわいマーケット」は今年で2回目の開催となり、掘り出し物が見つかるフリーマーケットや多くのキッチンカーが出店しました。また、ステージイベントでは地域おこし協力隊の塩野美里さんと庄司結衣さんの音楽デュオ「ソモプリ」の音楽ライブを始めとして、多くのアーティストが会場を盛り上げました。

新町通りのメインストリート会場で行われた「SHIN-MACHI DASH」では、子供から大人まで約60人の幅広い年代の人たちが、60メートルDASHやDASHリレー、ティラノサウルスレースなど7種目で白熱したレースを繰り広げました。



にぎわいマーケット開催



ソモプリのステージで会場は大盛り上がり



腕を大きく振ると足が速くなるんぞす

浪江町の歴史と記憶をたどる

2月14日(火)、町の記憶の継承、子供たちに故郷への関心を持ってもらうきっかけづくりとして、一般社団法人NoMAラボが作成したオンライン謎解きアドベンチャー「時の波へ」が公開されました。

浪江町イメージアップキャラクターうけどんが過去から現代までの浪江町を舞台とした謎に、頭を「やっこく」して挑戦しました。

※パソコンまたはタブレット端末でお楽しみください。(スマートフォンではプレイできません)



うけどん「時の波へ」初挑戦

謎解きで頭がいっぱいいっぱい

まちの話題



浪江町公式
フェイスブック

浪江町公式
インスタグラム

浪江町公式
ツイッター

なみえ
チャンネル

神楽を奉納



3年ぶり「安波祭」

2月19日(日)、菰野神社において新型コロナウイルスの影響で中止していた安波祭が3年ぶりに開催され、神事や神楽と田植踊りが奉納されました。

この日は地域の豊漁・豊作、復興とともに、菰野神社の無事故再建に向けて祈願されました。

安波祭は海の安全や豊漁・豊作を願い、300年以上前から続く祭事で、県内外に避難している請戸芸能保存会の女性約20人が踊り手として集まりました。



田植踊りを奉納

浪江町で希望のカケラ拾い

2月22日(水)、浪江町内(6号線沿い)において福島県郡山市出身の俳優・鈴木文健さんとなみえアベンジャーズが「希望のカケラ」拾いをしました。ブンケンさんは、2020年1月から「ブンケン歩いてゴミ拾いの旅」で福島県内のゴミ拾い旅のロケを行っており、集めたゴミは福島県をきれいにするための「希望のカケラ」と呼んでいます。

浪江町でのゴミ拾いではおよそ10袋の希望のカケラを集め、町をきれいにしてくれました。



ブンケンさんと浪江アベンジャーズ「希望のカケラ」拾うぞー



ブンケンさん「希望のカケラ」を分別